



FAS住まい新聞

発行責任者
俣福地建築
 北斗市中野通 324
 Tel 0138-73-5558
 fax 0138-73-8460

◇ 通時的・共時的家づくり ◇

新型コロナウイルス感染拡大は治まる気配がなく、このコロナ禍でお家時間やリモートワークなど、家にいる時間が多くなったようです。

住まいの間取りを考える際には、どうすれば快適で安らげる空間になるか、家事をする人の肉体的負担を少なくできるか、趣味のスペースやワークスペースや日射・ロケーション、通風などを考えてプランを作成していきます。

特にここ数年意識しているのは、注文住宅を建築する際、今現在の家族構成や使い勝手だけを優先させてしまいがちです。言うなれば『共時的家づくり』家族の成長や社会的な変化などを考慮しない、一定時期を考えた家づくりのプランになっていないかどうかです。

家を購入される方の多くは、結婚・新築購入・子育て・メンテナンスリフォームといった、今現在の家族構成や使い勝手を満足することだけを考えてプランニングしてしまう傾向になってしまいがちです。

しかし、人は成長し、歳も重ねていきます。現在の家族構成が数十年後に維持されているとは限りません。

数十年後にはやってくる子供の独立、定年退職、リフォームなど、時間の流れや変化に沿って行く『通時的な家づくり』が必要だと考えています。

決められた条件でのプランニングは、簡単ではありませんが、家族構成の変化に柔軟に対応できて、時の経過と共に美しく飽きのこない住宅を意識して、プランニングをする事が必要です。

何よりも、数十年経っても性能が維持されるファース工法の温熱環境の良さを盛り込み、健康で快適にそして人も建物も長生きできる、本物の100年住宅を目指して建築にあたるべきです。

使い勝手を優先するのかデザインを優先するのか

「デザインを優先させる!」「この材料は使い勝手を優先させる!」「金額を優先させる!」など、お施主様が判断しなければならない項目が多いのが注文住宅の特性でもあります。

床材ひとつとっても、フローリング(無垢・複合・クッションフロアもある)・タイル・畳・コルク・カーペットなどがあります。

何を優先させるのか、ノンワックスがいい、ダニがつきにくい安価であるなどいろいろとメリット・デメリットがあります。

どんな材料でも利点・欠点があります。屋根などもプランによりますが、片

流れ屋根などは、軒をださない方が外観はスタイリッシュになります。

しかし、軒がないので、方角によっては夏場に日射が入り、暑くなったり、雨が窓を通して入りやすくなったりします。

メリット・デメリット・使い勝手を優先するのか、デザインを優先するのか、いろいろなアドバイスをさせていただきます。

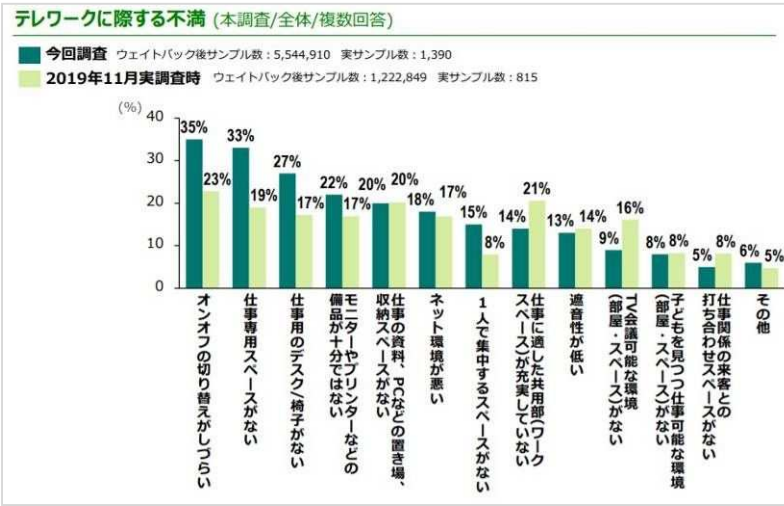
最終的にはお客様の判断になりますが、数十年先を見据えて「通時的」な家づくりの提案をしていく必要があると考えております。

(著:ハウジング事業部 北村真奈美)

◇ 〈参考資料〉テレワークする際に必要な環境とは ◇

リクルート社が2019年11月と2020年4月に実施した「テレワークに対する不満」というアンケート結果です。

この結果で一番多かったのが「オンオフの切り替えがしづらい」でした。今後も家づくりを行う際は、書斎のようなテレワークスペースを検討するケースが多くなる事と思います。その際は集中して仕事ができるような、オンオフの切り替えがし易いプランニングや工夫が必要になります。お施主様の意向をくみ取った提案がいっそう大切になります。



参照元: <https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-sumai/data/upload/799680d5e8e97fa1478bd10ee7bf1812.pdf>



「ファースの家」・家づくりの情報発信!

YouTube公式チャンネル開設

『ファースチャンネル』

QRコードを読み取りご視聴ください

